

科目名	生活支援技術	担当講師	荻野由起子・戸丸美智子
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	1 学年 通年
評価基準	衣生活：筆記試験(80%) 提出物(20%)等の提出状況 生活支援：筆記試験(100%) ※衣生活(100%)+生活支援(100%)÷2		
目標	衣生活：①被服の機能、管理について理解し、高齢者や障害者に適した被服の知識を深める。 ②基礎的な裁縫の技術を習得する。 生活支援：①生活支援の基本と家事支援・緊急時の対応について理解する。 ②バリアフリーやユニバーサルデザインについて学び、身近な部分や社会全般にどのように反映されているかを考える。 ③福祉住環境について学ぶ。		
回	講義内容		方法
1	(衣生活①) 被服生活を取り巻く社会的環境	(荻野)	講義
2	(衣生活②) 被服の機能	(荻野)	講義
3	(衣生活③) 被服の管理	(荻野)	講義
4	(衣生活④) 被服素材の特徴	(荻野)	講義
5	(衣生活⑤) 繊維の種類と分類	(荻野)	講義
6	(衣生活⑥) 被服の洗濯と保管	(荻野)	講義
7	(衣生活⑦) 被服と皮膚の衛生保持	(荻野)	講義
8	(衣生活⑧) 着やすい被服の工夫	(荻野)	講義
9	(衣生活⑨) 高齢者・障害者に適した被服	(荻野)	講義
10	(衣生活⑩) 被服の裁縫①	(荻野)	実習
11	(衣生活⑪) 被服の裁縫②	(荻野)	実習
12	(衣生活⑫) 被服の裁縫③	(荻野)	実習
13	(衣生活⑬) 障害のある人の被服の配慮	(荻野)	実習
14	(衣生活⑭) 障害のある人の被服の配慮	(荻野)	実習

15	(衣生活⑮) 試験・まとめ	(荻野)	試験・まとめ
16	(生活支援①) 生活の支援と支援の基本	(戸丸)	講 義
17	(生活支援②) 生活支援と福祉用具の活用	(戸丸)	講 義
18	(生活支援③) 家事支援の意義と目的/介護技術	(戸丸)	講 義
19	(生活支援④) 居住環境整備の意義と目的	(戸丸)	講 義
20	(生活支援⑤) 居住環境の整備 安心して快適な生活の場づくり (戸丸)	(戸丸)	講 義
21	(生活支援⑥) 居住環境の整備 他職種の役割と協働	(戸丸)	講 義
22	(生活支援⑦) 居住環境の整備 グループワーク	(戸丸)	講 義
23	(生活支援⑧) 家事の介護 他職種の役割と協働	(戸丸)	講 義
24	(生活支援⑨) 家事の介護 グループワーク	(戸丸)	講 義
25	(生活支援⑩) 家庭生活にかかわる基本知識	(戸丸)	講 義
26	(生活支援⑪) 家庭生活にかかわる基本知識 グループワーク (戸丸)	(戸丸)	講 義
27	(生活支援⑫) 生活支援と介護予防	(戸丸)	講 義
28	(生活支援⑬) 生活支援とリハビリテーション	(戸丸)	講 義
29	(生活支援⑭) 緊急時の対応	(戸丸)	講 義
30	(生活支援⑮) 定期試験・まとめ	(戸丸)	試 験・まとめ
テキスト・参考書	衣生活：新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I 中央法規 住生活：福祉住環境コーディネーター2級 (参考書) 随時コピー配布 (資料) 生活支援：新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I 中央法規		